

- 平成28年10月1日から平成28年12月31日まで岡山大学病院 放射線科において東芝社製のCT装置にて単純CT検査を受けられた方へ

「放射線減弱マップから考える適正アクリルファントム厚の検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院保健学研究科
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院保健学研究科 研究科長 竹田 芳弘

岡山大学病院
病院長 榎野 博史

研究責任者 岡山大学病院医療技術部放射線部門
診療放射線技師 井上 智洋

1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

X線を使った装置では、新しい装置の導入の際に従来の装置と写真の見た目の比較などの検討を行う必要があります。写真の見た目の比較法としてCDRADファントム®という道具を使った評価があります。この評価を行うときはアクリルファントムと呼ばれる人の代わりとなる道具を利用します。そこで本研究では胸部X線写真における標準体型、痩せ型、肥満型それぞれにおいて使用する適正なアクリルファントムの厚さ決定のための研究を行います。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

平成28年10月1日から平成28年12月31日まで岡山大学病院 放射線科において東芝社製のCT装置にて単純CT検査を受けられた方標準体型、痩せ型、肥満型それぞれ160、25、110人程度とします。ただし内訳は男性ではそれぞれ80、5、67人以上とし、女性はそれぞれ73、16、42人以上とします。

2) 研究期間

平成28年10月1日 ~ 平成30年3月31日

3) 研究方法

BMIが18.5~25となる場合を標準体型とし、18.5以下を痩せ型、25以上を肥満型とします。胸部CT画像から胸部の線減弱係数という値を求めます。線減弱係数とは放射線がどれだけ弱まるか、という指標です。この指標から放射線減弱マップを作成します。アクリルファントムも同様にCTから線減弱係数を求めます。作成した減弱マップとアクリルファントムの線減弱係数から人体の胸部と等価となるアクリルファントムの厚さを算出します。これを体型別に調べます。

4) 使用する情報

研究に使用する情報として、診療録から抽出した情報を使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、連結可能匿名化し、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学IVRセンター内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページに公開しお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。

この研究の結果はあなたの個人情報が分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、平成29年1月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院医療技術部放射線部門 診療放射線技師 井上 智洋
電話：086-235-7712(岡山大学病院IVRセンター受付) 平日:8:30~17:15